

令和6年度 森林環境譲与税の使途について

担当課	事業名	事業内容	R6執行額
管理課	東大阪市庁舎ウッドデッキ改修工事	本庁舎敷地内に設置されているウッドデッキが老朽化により変色・腐食等生じていることから、国産木材を使用し更新を行うもの。	6,580千円
みどり景観課	森林環境保全事業	令和4年度に策定した森林整備方針に基づき、整備すべき森林の調査及び設計並びに危険木の伐採を行う。	9,205千円
みどり景観課	基金積立	東大阪市森林環境譲与税基金への積み立て。来年度以降、森林整備及び木材利用に充当予定。	57,483千円

令和6年度譲与額: ¥57,483,000-
令和7年3月31日時点基金積立額: ¥144,758,415-(運用利子等を含む)

- 東大阪市庁舎の敷地に設置しているウッドデッキが老朽化していたため、大阪府産材を使用し更新した。また、プレートの設置により来庁者へ市の取り組み及び本事業の周知を図っている。

□ 事業内容

東大阪市庁舎ウッドデッキ改修工事

- ・ 外構東側の既存ウッドデッキを大阪府産材を使用したウッドデッキに更新。

【事業費】 6,580千円（うち譲与税6,580千円）

（譲与税は、ウッドデッキの木材、工事費に係る部分に充当）

【実績】 床面積132㎡

□ 取組の背景

- ・ 既存ウッドデッキは設置後20年以上経過しており老朽化していたため更新する必要があった。

□ 工夫・留意した点

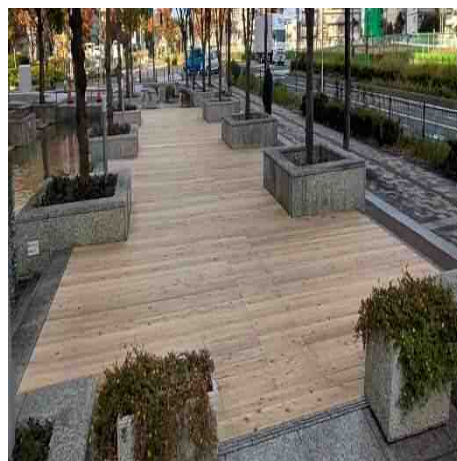
- ・ 大阪府産材を使用した上で、その旨を記載するプレートを分かりやすい位置に設置して市の取り組みを周知した。

□ 取組の効果

- ・ ウッドデッキを歩行する来庁者が増加して、休憩する来庁者が増加した。



（改修工事前）



（改修工事後）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：57483千円		②私有林人工林面積（※1）：347ha
③林野率（※1）：16.3%	④人口（※2）：493,940人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

➤ 令和4年度に策定した5か年計画の東大阪市森林整備方針に従い、辻子谷ハイキングコースの危険木伐採業務を実施した。

□ 事業内容

森林整備にかかる危険木伐採業務（委託）

- 東大阪市の主要なハイキングコースの1つである辻子谷コースの現地調査をして、安全性の点検・評価をおこなった。ナラ枯れ木や傾いた木など危険木を特定し、適切な伐採作業を実施した。

【事業費】6050千円（うち譲与税6050千円）

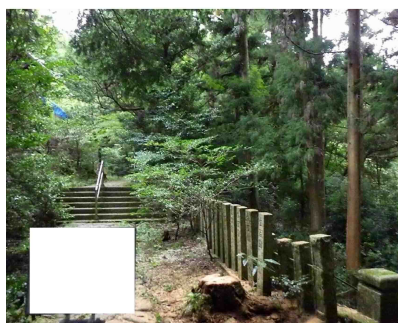
【実績】危険木伐採 19本

□ 取組の背景

- 生駒山一帯は、自然や歴史的文化財にめぐまれ、気軽に楽しむことのできるハイキングコースが多数ある。一方、山林所有者や地域住民の森林に対する関心は薄れ、手入れの行き届かない森林が増加している。



（危険木伐採前）



（危険木伐採後）

□ 工夫・留意した点

- ハイキングコースを実際に歩き、ハイカーに利用される場所の中で、特に安全確保のため伐採が必要と判断される木を選定した。
- 伐採時には、ハイカーの安全性を最優先に考えつつ、ハイキングコースが長時間の通行止めにならないようにした。
- 所有者自身で伐採が可能か確認した上で、伐採できない場合に森林環境譲与税を活用し、事業を実施した。

□ 取組の効果

- 安全な通行ルートを確保することができ、安心してハイキングを楽しむことができるようになった。
- 森林所有者に対し、所有森林の維持管理の責務があることの啓発を行うことができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：57483千円		②私有林人工林面積（※1）：347ha	
③林野率（※1）：16.3%		④人口（※2）：493,940人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より